

iSert® Micro Toric

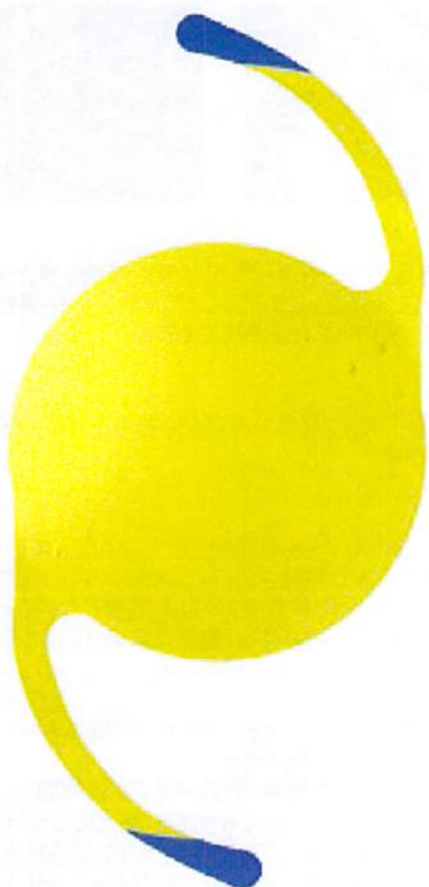
Aspheric 1-Piece

Hydrophobic Acrylic with Blue Haptic Tips

Model 355T3/355T4/355T5

トーリックOL搭載の極小切開対応プリロード

強角膜2.2mm~/角膜2.4mm~
3種類の円柱度数をラインナップ



特徴のあるレンズデザイン

HOYA独自の非球面設計 (ABCデザイン)
ブルーの支持部先端により視認性を向上
シャープエッジの採用



1アクション挿入を強力サポート

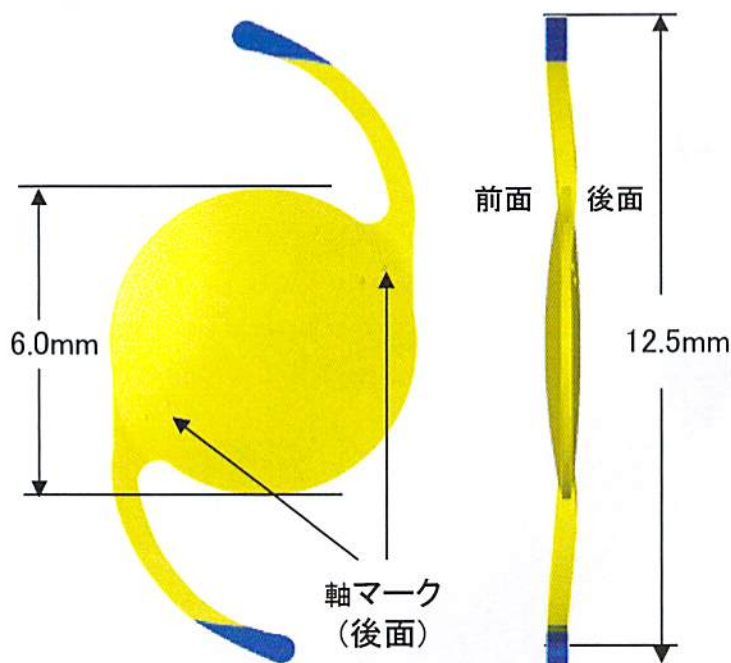
コンパクトな両ループ自動タッキング機構

HOYA
SURGICAL OPTICS

iSert® Micro Toric

Aspheric 1-Piece

Hydrophobic Acrylic with Blue Haptic Tips



Model name	355T3/ 355T4/ 355T5
光学部径	6.0mm
長径	12.5mm
光学部デザイン	前面:非球面(ABCデザイン) 後面:トーリック
光学部材質	紫外線吸収性黄色軟質アクリル樹脂
支持部材質	紫外線吸収性黄色軟質アクリル樹脂及びPMMA
製造範囲	+10.0D~+30.0D(0.5Dステップ) *1
A定数	118.4 *2
推奨切開創サイズ	強角膜2.2mm~ 角膜2.4mm~

モデル別円柱度数	眼内レンズ面	角膜面 *3
355T3	1.50	1.03
355T4	2.25	1.55
355T5	3.00	2.06

*1 2014年8月現在。

*2 A定数は参考値として考え下さい。レンズ度数を厳密に算出される場合、ご使用の装置やご経験に基づき独自のA定数を算出されることをお勧めいたします。

*3 平均的な偽水晶体眼モデル眼による換算

尚、弊社が提供するToricカリキュレーターは下記からご利用頂けます。

www.hoyatoric.com 又は www.hoyatoriccalc.com

ステップA



ステップB



ステップC



ステップD



ステップA

粘弾性物質注入ポートから矢印で示す範囲を満たすように粘弾性物質を注入する。この時レンズ光学部に粘弾性物質が十分に行き渡っていることを確認すること。

ステップB

カバーのリリースタブをつまみながら持ち上げ、カバーをケースから取り外す。

ステップC

インジェクターのボディを親指で固定しながら、スライダを完全に突き当たるまで移動させ、レンズをゆっくり前方に押し進める(押し進めた後の状態で3分以上放置しないこと)。ケースからインジェクターを取り外し、直ちにステップDに進む。

ステップD

スクリューを押して、ボディとスクリューが噛み合ったらスクリューを時計回りに回転させる。

その際、下記3点を注意深く観察する(写真参照)。

- ① ロッドがレンズ光学部の後方縁に近づくにつれ後方支持部(ループ)がレンズの内側にタッキングされること。
 - ② レンズが前方に進むにつれ、前方ループがレンズの内側にタッキングされること。
 - ③ ロッドがレンズ後方縁のほぼ中央部を押していること
- 確認後は直ちに次の手順に進む。ペベルダウンで、切開創からインジェクター先端のノズルを慎重に挿入し、ゆっくりとスクリューを回転させて、嚢内にレンズを放出する。

HOYA株式会社 メディカル事業部

〒164-8545 東京都中野区中野4-10-2 中野セントラルパークサウス6F

TEL.03-5913-2343

Singularly Focused. Globally Powered.™

販売名:HOYA アイサート Micro Toric

承認番号:226008ZX00003000

製造販売元:HOYA株式会社

東京都新宿区中落合2-7-5